

# 県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

## 〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 10月

令和4年10月1日の推計人口 1,282,571人  
世帯数 558,334世帯

参考：R2.10.1現在国勢調査総人口：1,312,317人、  
世帯数：558,230世帯

### 1 推計人口

令和4年10月1日現在の推計人口は、1,282,571人で、前月(1,283,569)に比べ998人の減少となった。

市部では長崎市(△306)、佐世保市(△158)、南島原市(△80)、対馬市(△60)、西海市(△58)、島原市(△54)、諫早市(△54)、雲仙市(△48)、壱岐市(△46)、平戸市(△36)、大村市(△32)、五島市(△31)、松浦市(△15)の13市で減少した。

郡部では、時津町(85)、佐々町(5)の2町で増加し、新上五島町(△43)、長与町(△39)、東彼杵町(△12)、小値賀町(△6)、川棚町(△5)、波佐見町(△5)の6町で減少した。

自然動態は、出生数708人、死亡数1,696人で988人の減少、社会動態は、転入者数2,853人(県内転入を含む)、転出者2,863人(県内転出を含む)で、10人の減少となった。

### 2 世帯数

令和4年10月1日現在の世帯数は、558,334世帯で前月(558,415)に比べ81世帯の減少となった。

(注)

・異動人口推計=R2国勢調査確定数+住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】 …… 8月

1人当たり現金給与総額 249,436円  
対前月比 23.9%減少  
対前年同月比 3.9%減少

### 1 賃金

8月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は249,436円で、前月に比べ23.9%減少し、前年同月に比べ3.9%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は241,256円で、前月に比べ0.2%増加し、前年同月に比べ2.0%減少した。

特別給与額は8,180円で、前年同月に比べ、4,991円減少した。

### 2 労働時間

8月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は143.7時間で、前月に比べ2.9%減少し、前年同月に比べ0.4%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は133.1時間で前月に比べ2.9%減少し、前年同月と比べ、0.9%減少した。

所定外労働時間数は10.6時間で、前月に比べ2.8%減少し、前年同月に比べ6.1%増加した。

### 3 雇用

8月の常用労働者数は213,074人で、前月に比べ、0.1%減少し、前年同月に比べ0.8%減少した。

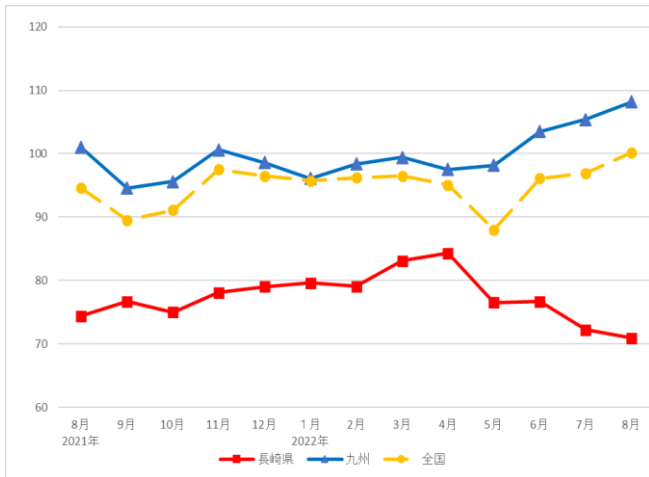
【鉱工業生産指数】……………8月

令和4年8月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整済指数		原指数	前年同月比(%)
	前月比(%)			
長崎県	70.9	△1.8	66.3	△6.5
九州	108.2	2.7	102.0	8.9
全国	100.4	3.4	91.5	5.8

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



2022年8月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が70.9で対前月比は1.8%の減、原指数は66.3で対前年同月比は6.5%の減となった。

業種別にみると、窯業・土石製品工業、電気機械工業、輸送機械工業など7業種が上昇し、繊維工業、食料品工業、はん用・生産用機械工業など6業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	上昇に寄与した主な品目
窯業・土石製品工業	21.3	生コンクリート
電気機械工業	12.3	交流発電機
輸送機械工業	5.0	新造船

○主な低下業種

業種	前月比(%)	低下に寄与した主な品目
繊維工業	△18.2	漁網・陸上綱
食料品工業	△15.2	その他の調味料
はん用・生産用機械工業	△10.3	ボイラー

(注)前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………9月

総合指数(R2=100)

103.3

対前月比(%)

+0.5

対前年同月比(%)

+3.0

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、103.3である。

前月比+0.5%で、主な上昇要因は「食料」の+1.3%、「被服及び履物」の+2.7%であり、主な下落要因は「教養娯楽」の△0.9%、「交通・通信」の△0.5%である。

前年同月比は、5月は+2.4%、6月は+2.3%、7月は+2.9%、8月は+3.1%と推移した後、9月は3.0%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は102.7で前月比+0.4%の上昇であり、前年同月比は+3.0%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

被服及び履物	2.7%
食料	1.3%
家具・家事用品	1.2%
光熱・水道	1.0%
住居	0.4%
保健医療	0.1%
諸雑費	0.1%

▽同水準の費目

教育	±0.0%
----	-------

▽下落した費目

教養娯楽	△0.9%
交通・通信	△0.5%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……………9月

消費支出(一世帯当たり) 338,738円

前月比

57,467円増(20.4%増)

令和4年9月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は338,738円で、前月比20.4%の増、前年同月比は41.3%の増であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は83.4%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。